科目名 (Eng)	簿記入門(Introduction to Bookkeeping)								
担当教員	渡部 美紀子								
対象学年等	学科・専攻	学年	授業期間	区分	単位数	時間数	分野	形態	学修単位科目
	コミュニケーション情報学科	3	通年	必修	2	(60)	専門	A	
目標基準との対応	福島高専の教育目標との対応:(C-1). (D-1).								
	卒業時に身に付けるべき学力や資質・能力との対応:3).4).								
	JABEE基準1(1)との対応:								
授業の概要と方針	会計学の基礎を学んでいく上で，複式簿記の仕組みを理解することは非常に有意義であり，かつ必要不可欠である。本稿儀では，全経3級レベルの簿記一巡の手続きについて学習する。								
到達目標	①基本的な仕訳と転記が確実に出来る。 ②試算表やその他帳簿の作成が出来る。 ③個人企業における財務諸表の作成手続きを理解出来る。 ④2月に実施される簿記能力検定試験の3級合格を目指し，試験問題を解くことが出来る。								

授業計画

	週	授業項目	理解すべき内容	準備学習
前期	1	イントロダクション	授業の進め方，検定試験の説明，簿記の5要素	
	2	資産・負債・資本	貸借対照表の作成	新しく出てきた勘定科目を確認し，資産・負債・資本・収益・費用のどれに該当するのかをしっかり覚える。
	3	収益・費用	損益計算書の作成	
	4	取引	取引の意味	
	5	勘定	勘定科目	
	6	仕訳帳・総勘定元帳	仕訳・転記	
	7	試算表	試算表の作成	
	8	復習	これまでの復習	
	9	決算(1)	決算手続き	
	10	現金・預金	現金，当座預金他	
	11	商品	三分法	
	12	売掛金・買掛金	人名勘定，貸倒引当金	
	13	固定資産(1)	減価償却	
	14	固定資産(2)	固定資産の売却	
	15	復習	前期のまとめ	
後期	16	手形	約束手形，為替手形	取引を仕訳に置き換えられるよう，常に資産・負債・資本・収益・費用の増減として理解できるようにする。
	17	有価証券	買入，売却，評価	
	18	各種債権・債務	貸付金，借入金他	
	19	資本金	個人企業の資本金	
	20	税金	個人企業の税金	
	21	決算(2)	精算表の作成①	
	22	決算(3)	精算表の作成②	
	23	復習	これまでの復習	
	24	決算(4)	財務諸表作成問題	
	25	第2問対策	計算問題	
	26	第3問対策	伝票問題	
	27	第3問対策	試算表作成問題	
	28	第4問対策	帳簿記入問題	
	29	第1問対策	仕訳問題	
	30	総合演習	1年間のまとめ	

試験について	前期試験は実施する。後期試験は実施する。
評価方法	定期試験70%，課題20%，学習態度を10%として総合的に評価する。
教科書	『とおるテキスト　日商簿記3級』ネットスクール出版，『完全分類　全経簿記，3級商業簿記』英光社，『全経簿記　改訂ワークブック，3級商業簿記』英光社；配付資料
参考書	
関連科目	
履修上の注意	1問でも多く，1回でも多く問題を解くことが大切である。制限時間内に試験問題に解答できるように，配布プリント以外にも積極的に過去の既出問題を解き，自己学習すること。